私に、あなた方の内からハリール（親愛な者）があるなどということから、私はアッラーに潔白を求める。なぜならアッラーは、イブラーヒームをかれのハリールにしたのと同様に、私をハリールとしたからである。

ジュンダブ（アッラーのご満悦あれ）は言った： 私は、預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）が亡くなる５日前に、こう言うのを聞いた：「私に、あなた方の内からハリール（親愛な者）があるなどということから、私はアッラーに潔白を求める。なぜならアッラーは、イブラーヒームをかれのハリールにしたのと同様に、私をハリールとしたからである。 そして、もし私が私の共同体の内からハリールを選ぶとしたら、きっとアブー・バクルをハリールとして選んだだろう。かつてあな
た方以前の人々は、彼らの預言者や正しい者たちの墓をマスジドとした。墓をマスジドとしてはならない。私はそのことをあなた方に禁じる。」
[صحيح] [رواه مسلم]

預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は、アッラーのもとにおける自らの地位について、ちょうどイブラーヒーム（彼に平安あれ）がそうだったように、アッラーの愛における最高の位にまで達したことを語った。それゆえに、アッラー以外には自分にハリール（親愛な者）などない、と言ったのであるである。というのも彼の心はアッラー に対する愛情、かれを偉大視する気持ち、かれについての知識で満ち溢れており、アッラー以外のいかなる者に対しても向けられてはいないからである。 そしてもし彼にハリー ルがあったとしたら、それはきっとアブー・バクル（アッラーのご満悦あれ） だっただろう。 ユダヤ教徒やキリスト教徒は、彼らの預言者や正しい者たちの墓をアッラーをよそにして崇拝する神々とし、墓の上に建築してマスジドや崇拝の場としてしまったが、そのように愛情の定められた一線を越えることの警告。預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は自分の共同体に対し、彼らのようなことをしないようにと禁止した。

http://www.sunnah.global/hadeeth/ja/show/3347